

GOVERNOR's Monthly Letter

ガバナーズ マンスリー レター

D2580
ガバナー月信

1

JANUARY 2020 Vol.7

発行

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館1階
TEL: 03-3538-0211 FAX: 03-3538-0212
E-mail: office@rid2580.org URL: <https://www.rid2580.org/>



謹賀新年

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます
本年もどうぞよろしくお願いいたします

二〇二〇年 新春

国際ロータリー第二五八〇地区

ガバナー 新本 博司

ガバナー補佐 若林 英博
ガバナー補佐 佐藤 文則
ガバナー補佐 小林 力
ガバナー補佐 小出 豊
ガバナー補佐 猪飼 昭彦
ガバナー補佐 遠藤 憲治
ガバナー補佐 齊藤 榮一
ガバナー補佐 嶋村 文男
ガバナー補佐 田村 純治
ガバナー補佐 鈴木 久幸
ガバナー補佐 法理 規夫
ガバナー補佐 宮城 富夫
ガバナー補佐 奥本 弘文
ガバナー補佐 新垣 淑典
地区幹事 地区役員・委員一同

引き続き奉仕の実践を

国際ロータリー第2580地区
2019-20年度ガバナー
新本 博司



明けましておめでとうございます。7月1日にガバナーに就任してから早いもので6か月が経ちました。会長・幹事をはじめ会員各位のご協力に感謝いたします。

基本理念と職業奉仕

1月は職業奉仕月間です。私たちが常日頃言っている職業奉仕の概念は、国際ロータリーの文書中でも十分に尊重されています。職業奉仕の考え方について制定案または決議案などの立法案として提案しても、国際ロータリーの規定審議会では、基本理念などに記載しているので、これ以上検討する余地がないのではないかと、言ってきています。私たちとしては、できれば「職業奉仕」という特別な重点項目を設けて解説しておきたいところですが、国際ロータリーでは、「社会奉仕に関する1923年の声明」、「ロータリーの目的」、「四つのテスト」、「五大奉仕部門」などの項目を設けて言い尽くしているのです。改めてこれ以上の表現を求めることはしないようです。しかしこれらの項目は、言葉どおり「基本理念」です。「基本理念」をもって「職業奉仕」であるとして、皆さんは納得されますか？同じものを基本理念とみるか、職業奉仕とみるかは一人一人の考え方によっています。皆さんでよく考えてみましょう。

ロータリーの方針に関する最近の変更について

マーク・マローニー国際ロータリー会長のロータリーアクトに対する情熱は大変大きなものです。私も、今年度の地区年度方針に、公共イメージ向上と共にロータリーアクトを重要トピックに挙げました。

2019年10月の国際ロータリー理事会で、ロータリーアクトについての重要な決定事項があったことが、ウェブサイトにも載っていましたが、皆さんご覧いただいたでしょうか。

<https://my.rotary.org/ja/recent-rotaract-policy-updates?fbclid=IwAR3MRpG4odzkJm8K7mLvXwJnKpzhgn7VaBZR9TD7tM0hX-ZGSQ6SrGPmC6E>

2019年規定審議会は、国際ロータリーの組織規定を改正し、その結果、ローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブに含まれることとなりました。4月のこの画期的な決定後、マーク・マローニーRI会長は、ローターアクターとロータリアンから成る「Elevate Rotaract Task Force(ローターアクト地位向上タスクフォース)」を任命しました。同タスクフォースは、ローターアクトの新しい立場をより正確に反映する方針を提案します。同タスクフォースによる話し合いのあらゆる段階で、ローターアクターが会員として求めるものを知り、また、調査や討論グループを通じて重要な方針の決定に加わるあらゆる機会をローターアクターに提供することが重要な目標とされました。

2019年10月理事会会合でのローターアクトについての重要な決定事項

2019年10月、国際ロータリー理事会は、「Elevate Rotaract Task Force」の推奨に応じて、ローターアクトに関連する方針に複数の変更を加えました。詳細は、以下をご覧ください。

ローターアクトに関連する方針で2020年7月1日から実施される変更事項についての詳細

2020年7月1日から有効となる更新された「標準ローターアクトクラブ定款」

2020年7月1日から改定される「推奨ローターアクトクラブ細則」

ローターアクトに関する大きな変更事項と、この変更による影響についての「よくある質問」は、以下の通りです。

「ロータリー章典」への変更事項(2020年7月1日から有効)

- ・ローターアクトクラブは、スポンサークラブ(提唱クラブ)の有無に関わらず新しいクラブを設立できるようになります。
- ・ローターアクトクラブは、ほかのローターアクトクラブをスポンサークラブとして選ぶことができるようになります。
- ・ローターアクトクラブには、18歳以上のすべての若い成人が入会できるようになります。
- ・ローターアクトに関する方針は、第5章「プログラム」

の部分から移され、改訂後の第2章「クラブ」の部分に記載されます。

- ・方針に関する変更事項に基づき、「標準ローターアクトクラブ定款」ならびに「推奨ローターアクトクラブ細則」が改定されます。
- ・すべての地区委員会にローターアクターを加えることがロータリー地区に奨励されます。

その他の重要な決定事項

- ・ローターアクターは今後、人頭分担金を支払うこととなりますが、その額と支払い開始時期は未定です。
- ・RI会長、RI理事会、ロータリー財団管理委員会は、ローターアクトの関連事項について、ローターアクターがどのように助言するかを検討する必要があります。
- ・国際ロータリーは、ローターアクトの目標を次のように設定しました。
- ・2022年までに、ローターアクターの数（国際ロータリーに報告される数）を100%増やす。
- ・2022年までに、それらの報告されたローターアクターのうち、ロータリークラブに入会した人の数を20%増やす。
- ・2029年までに、ローターアクターの数（報告される数）を100万人に増やす。

地区研修会の報告

11月14日に第2回地区研修会がありました。研修会は年2回で、前回は8月でした。今回はハイアットリージェンシー東京にて、青少年奉仕をトピックとして、ディスカッションを中心にプログラムが生まれ、会長・幹事および青少年奉仕関連の委員長達が上山昭治地区研修リーダーの下に集まりました。公共イメージ向上と青少年奉仕は、国際ロータリーそして当地区の年度重要項目ですので、研修会の内容についてご報告いたします。

公式訪問を重ねて参りましたが、各クラブが活性化していることを実感し、感謝しております。公式訪問、IM、地区大会が終わったらそれで終わりではなく、ロータリーの一期一会の「つながり」を大事にしながら、ロータリーを地域にPRし続けて欲しいと思います。

多くの人と幸せを分かち合いたい気持ちを発信すれば、幸せがいっぱいあることが平和につながっていきます。上山地区研修リーダーからも、青少年奉仕活動についての研修は、平和で明るい未来にとって不可欠な要素であるとのお話がありました。

平井憲太郎地区青少年奉仕委員長からは、青少年奉仕は分野が広く、どれを取り上げるかが難しいとの話がありました。今回は、ぜひ新クラブを設立して欲しいという私のお願いから**ローターアクト**を、本地区としては始まったばかりの**RYLA**を、そして問題提起の多い**青少年交換**を取り上げた旨、説明がありました。

その後片岡莊子東京ワセダRC会長が、「ローターアクトクラブの実際」として、設立5周年を迎えた東京ワセダローターアクトクラブの活性化についてお話しくださいました。マローニー国際ロータリー会長も私も、青少年奉仕の重要性を訴えておりますので、今後ローターアクトクラブ設立を目指す方々へのご参考のためにも、ここにご報告します。

ローターアクトクラブ提唱を考えたのは、良質な人材を育てる目的で、片岡さんが地区ローターアクト委員になったのを機に始まりました。若者の行動力、計画力に感心し、クラブ設立を考え始め、東京ワセダRC設立20周年記念行事として提案されました。2~3年の準備期間後、2014年3月の提唱まで、ローターアクターを例会に呼んで交流し、若者と交流することの意義を会員にアピールしました。元ROTEX委員長が東京荒川RACで勉強し、設立を担当したそうです。当初は青少年交換学友が中心の会員構成で12名からスタートしましたが、現在では会員からの紹介でメンバーも30名を超え、活気あるクラブに成長しているとのこと。月2回の例会は各委員会が担当し、例会の質の向上を目指し、会員増強を図ったり、ロータリアンが必ず数名出席し、週報に報告を載せたり工夫しています。若者はロータリアンとの交流を望んでおり、ロータリアンは若者を引っ張っていく義務があると片岡さんは仰いました。ロータリアンも大いに刺激を受けているようです。最後にローターアクトの今後についてお話がありました。というのも、今年10名程度が30歳を迎え、卒業していくのです。衛星クラブ設立も考えましたが、学友会を使っただけの交流を続け、将来ロータリアンを目指して

欲しいと願っているとのこと。末永く成長を見届け
る楽しみを共有できるところが、青少年奉仕活動の醍
醐味だと思います。

小林充地区RYLA委員長からは、RYLAについての
ビデオを使った説明がありました。

RYLAとは

- ・当地区では昨年(2018-19年度)からRYLAを開
始しました(1971年に国際ロータリーの理事会で
採択されたプログラムです)。
- ・RYLAとは、Rotary Youth Leadership Awards
の略で、日本語ではロータリー青少年指導者養成プ
ログラムと訳されます。
- ・1959年、オーストラリア ブリスベンRCにてスター
トし、日本では1976年第366地区(大阪・和歌山)
にてスタートしました。
- ・日本の34地区の内、現在は当地区を含めて29地区
で実施されています。

RYLAセミナーの特徴

- ・グループ討議が基本であること
- ・カウンセラー制度を導入していること
- ・セミナー後のフォローアップがあること
- ・受講生は多彩な人材であること

沖縄で開催する意義

- ・飛行機による移動、沖縄の風に触れることによる非
日常的な雰囲気に触れることによる受講者の期待感
と気持ちの高揚
- ・違った地域の若者が沖縄の地で徹底的に話し合える
こと

RYLAの活用

- ・導入部分の入口が優しく、若者を誘いやすい
- ・RYLA学友→ローターアクト→ロータリークラブへ導
きやすい
- ・セミナーを受講したRYLA学友はロータリーファミ
リイとして、各クラブの奉仕活動に参加できるので、
青少年活動の第一歩としても導入しやすい
- ・RYLAがクラブを活性化します

RYLA効用

- ・毎年セミナーを実施することにより、多くの若者に
ロータリークラブを理解していただき、将来のロー
ターアクト、ロータリアンの候補生を増やすことが
できる。
- ・「ロータリーを知ってもらう」「公共イメージと認知
度の向上」において多くの若者たちをターゲットにし
たRYLAはアピールしやすい
- ・若者が若者を誘うサイクルの実現

地区研修会のディスカッションは2つのセッションに分
かれ、最初のセッションでは、

①ローターアクトクラブの作り方

- ・自クラブでローターアクトクラブを提唱していますか
- ・ローターアクトクラブを作る計画はありますか
- ・いい点、問題点は

②RYLA

- ・RYLAを知っていましたか
- ・今後、クラブとして参加者を推薦しますか
- ・いい点、気がかりな点は

の項目で、各テーブルでディスカッションしていただきました。

そして第二セッションでは、

③青少年奉仕のクラブでの事例

- ・各クラブの青少年奉仕活動を教えてください
- ・各クラブの今後の青少年奉仕活動の方向

④青少年交換留学 運営をスムーズに行うには

- ・青少年交換の経緯からみて、いい点
- ・カウンセラー、ホストファミリー以外の会員の交流、
役割
- ・クラブとしての今後の対応をどうしますか

という項目で、テーブル毎のディスカッションをしました。

地区研修会の最後には、鈴木隆雄地区研修サブ
リーダーより、「ロータリアンの行動規範」について、新
項目が付け加えられたこと報告がありました。第5項目
として“ロータリーの会合、行事、および活動において
ハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラ
スメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告し
た人への報復が起こらないよう確認する(2019年1月
理事会会合、決定119号)”が加わります。

クラブ公式訪問報告(11月12日~28日分)

11月25日、中央分区IMに出席するためにホテルニューオータニへ行った時、丁度ローマ法王の一行とすれ違いました。テレビや新聞でローマ法王の言葉を読み聞きしましたが、マローニー国際ロータリー会長が言っている事と非常に共通点が多いので、印象に残った言葉を少しご紹介しようと思います。ロータリーは国境や宗教を越えて、バッジ一つで一緒になれるところが、良いところだと思います。ローマ法王の言葉もカトリックという枠を超えて、平和のメッセージだったと感じました。

フランシスコ法王は、「東日本大震災の完全な復興までには先は長いかも知れないが、助け合い、頼り合うために一致できるこの国の人々の魂をもってすれば、必ず果たすことができる」と仰いました。日本は経済的に高度に発展した社会だが、日本社会について社会的孤立や過剰な競争意識に悩む人が少なくないとした上で、思いやりや寛大さの大切さを改めて説いていらっしゃいました。不安と競争心という悪環境に陥る時、個としての自由が弱まる、その上で思いやり、寛大さ、素直な傾聴などの大切さを説き、異なる宗教との協力と対話を呼びかけられました。東京ドームでのミサに参加した方からの感想の中に、「性別や国籍などの多様性が叫ばれる中、それぞれの価値観を重んじる社会になっていければ」、「平和はもちろん人を思いやる大切さなど学ぶべきお言葉が沢山あった」、「来年は東京五輪が開かれて文化の違いがあってもお互いを理解し合える社会になっていくと信じている」というものがあり、印象的でした。

11月12日に**東京葛飾東・東京葛飾中央RC**合同例会が行われました。

東京葛飾東RCが、先輩方の作った歴史と伝統を継承していることに敬意を表します。どこのクラブでも同様に、今後のロータリーをどのように活動していくか考える時期に来ています。また、会員増強が課題となっています。当クラブでも会員数の減少が課題と聞きましたが、クラブフォーラムを通じて皆で意見を出し合い、そこで今後もしっかりとクラブ運営をやっていこうと皆が

まとまったと聞き、素晴らしいクラブだと思いました。会長の方針テーマに沿って各委員会皆さんが活動されているので、クラブの新しい歴史を築いていってほしいと思います。地域的な特性もあると思いますが、人と人のつながりを大切に、クラブの特徴を生かし、さらにクラブ独自の「望月記念事業」をきっかけとして、インターアクトの育成につなげられれば、素晴らしいことだと思います。そしてさらには、会員増強にもつながっていくと思います。とても良いチャンスが訪れていると思います。

東京葛飾中央RCのクラブ協議会に出て、この葛飾という地域は、非常に可能性に満ちていると感じました。金町に東京理科大学ができ、若い人が集まる環境にあるので、地元の社共や大学生を巻き込んでロータリーがきっかけ作りをすれば、地域に集まる情報を活用や拡散することで、ロータリーの認知度向上や若い方の入会にもつながってくる考えられます。葛飾に普通にあるものを再認識して、人情があり、心温まることを活用して発信していってほしいと思います。これには他にはない強みだと思います。会長テーマにもある「まごころの和」を大切にして、引き続き活躍を期待しています。



11月26日は**東京荒川RC**を訪問しました。森永会長はマローニー国際ロータリー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを受け、これからも地域社会、会員同士、そして家族とのつながりを強めていくべきだと考えますと仰っておられました。そして、クラブテーマを『スマイルロータリー・スマートロータリー』とされました。50周年を昨年7月に迎え、新しい時代に向けた改革も必要かもしれませんが、一番の基本は、どんな時にも会員同士が楽しく笑顔で接し合える楽しいクラブづくりだと思いますという話が印象的でした。ロータリークラブについて、会員数の減少、活動の沈滞に悩んでおられるとお聞きしました。世代・年齢ギャップを感じながら、ロータリアンの関わり方を模索されていましたが、若者と触れ合うこと自体が活性化につながると思います。

清掃活動などで公共イメージの向上にも取り組んでおられました。地域に密着し、発信することが、クラブの増強につながると思います。

11月27日には、**東京お茶の水RC**を訪問しました。30歳から80歳台までが一体となっていることが印象的でした。会長は「ロータリーの原点に立ち、親睦と和と輪による奉仕活動の推進」という方針を掲げ、例会後や夜に会合、土曜日に街のクリーン活動+お酒の場を設けて、友達作り、和をもって奉仕活動をする努力をされているとお聞きました。不易流行の実践で、変革する社会に対応したクラブ作りを目指し、ロータリーの原点である親睦と奉仕の実践を行っているクラブでした。入会3年以下の会員に積極的に3~5年後の魅力あるクラブビジョン作りを任せ、新しい発想を採り入れながら、古参会員が指導して研修を行うシステムを作っておられます。また、全国のクラブの成功例やロータリークラブセントラルを活用し勉強しておられます。社会奉仕では地元の平和を目指し、千代田区クリーンプロジェクト、断食基金やNPO法人「親子はねやすめ」への寄付、地区補助金プロジェクトとして「MLRこどもプロジェクト」を行い、タイ・チェンライの子供たちへの支援、カンボジアから始まった反人身売買運動の「かものはしプロジェクト」(主にインド)への支援、ベトナムとの親善活動のための調査研究などを行われ、非常に活発な活動が印象的でした。



11月28日は、**東京城東RC・東京向島RC**合同例会を訪問しました。

東京城東RCは伝統を重んじるクラブであるとお聞

きました。出席・職業分類(一業種一社)等は従来の原則を守っていらっしゃるそうです。出席率100%を持続していらっしゃる、非常に結束の固いクラブと見受けられました。会長テーマの「仲間を増やそうそして魅力あるクラブに」の実現とクラブビジョン委員会の新設など、クラブの活性化に努めていらっしゃいます。ウェブ委員会による定期的なホームページの更新は、人との交流を深め若い会員の増加にもつながると思われま

す。魅力あるクラブにするためには、地域社会を取り込んでの活動こそクラブの独自性につながり、奉仕の実感が得られると考えます。持続可能な活動が、公共イメージの向上につながります。

東京向島RCの会長ターゲットは「奉仕する者の集いロータリー」です。クラブの長所をお聞きしたところ「安定したクラブ」との回答をいただきました。出席率が思わしくない会員に関してご相談を受けましたが、クラブはまず楽しくなければならぬと思います。例会に足が遠のいている理由等をお聞きしたり、分析したりする必要があります。例会だけでなく、奉仕活動の実践がロータリアンとしての満足感を充足することになり、人とのつながりが生まれ、会員増強にもなるのではないかと思います。例会の出席を義務とするか、友情を深める場とするかをそれぞれが考えることが、クラブの活性化につながり、既存会員の維持や会員増強にもつながると思います。

(訂正とお詫び1:編集者 遠山明良)

7月30日に訪問した**東京板橋RC**の報告原稿が、編集段階で落ちてしまいました(8月号で7月26日までの訪問報告、9月号で7月31日以降の訪問報告を載せてしまいました)。お詫び申し上げますと共に、1月号に掲載させていただきます。

7月30日は、**東京板橋RC**を訪問しました。クラブ協議会から会員全員出席で、拍手にて入場。当クラブのカバナー公式訪問時の恒例で、全員スーツ、ネクタイ着用でしたので、私も「かりゆし」でなく、スーツで出席しました。今年度石井会長は「生かされている感謝を、奉仕と仲間に」を掲げられ、Tokyo Itabashi Rotary ClubからTIC48(48人の会員に!!)を目標にされてい

ます。青少年奉仕のなかでも、特に板橋区と共催の区内中学全校参加の「板橋音楽祭ジュニア」に力をいれられているとのことでした。

90歳以上の方が4名いらっしゃり、「健康管理委員会」が設けられるなど、活発なクラブです。伝統的な部分や基本の部分がしっかりとしており、居心地の良いクラブでした。会長から、若い方の入会も促進したいとの

お話を聞きました。私も最近、LINEやFacebookのようなSNSを活用するようになり、多くの方や若い方からの情報が入り、つながりができるようになりました。インターアクト、ローターアクトなどを推進してみるのもよいと思います。また、地域の問題のために取り組んでいただきたいと思っています。例えば、私の地元沖縄では3人に一人が貧困と言われており、賞味期限が近い食品を宅食するような活動もやっています。板橋区での地域課題を行政や福祉協議会などと話し合ってみつけて、行動してください。沖縄での地区大会もお待ちしています。

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ロータリー財団メジャードナー

レベル1 横山 巖 (東京江戸川)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

3回	細川 義孝 (東京新宿)	数野 国明 (東京青梅)
	佐藤 利光 (東京青梅)	
2回	小林 光夫 (東京江北)	張替 俊光 (東京江北)
	飯田 弘 (東京江戸川)	西原 敬一 (東京小平)
	明神 信夫 (東京青梅)	志水 守 (東京青梅)
1回	鈴木 洋次 (東京新宿)	伊藤 隆 (東京江北)
	守屋 裕之 (東京江北)	北島 茂 (東京青梅)

ポール・ハリス・フェロー

榎本 英二 (東京新宿)	加藤 正美 (東京新宿)
村上 正明 (東京江北)	吉田 潤 (東京江北)
鈴木又右衛門 (東京江北)	鎌田 秀一 (東京江北)
稲山 雄一 (東京江戸川)	伊東 兼一 (東京江戸川)
進藤 幸雄 (東京青梅)	中島 慶貴 (東京青梅)
持田 禎宏 (東京青梅)	

ベネファクター

榎本 英二 (東京新宿)	岡部 安治 (東京新宿)
--------------	--------------

米山功労者・メジャードナー

32回	濱野 堅真 (東京)	
28回	清水 英世 (東京西北)	
17回	田辺 信彦 (東京)	池田 正孝 (東京江戸川中央)
16回	上田 元彦 (東京)	
14回	新倉 康榮 (東京豊島東)	

米山功労者・マルチプル

9回	吉田 敏男 (東京王子)	
8回	名村 義人 (東京)	
6回	渡辺 恵太郎 (東京江戸川中央)	
5回	奥山 章雄 (東京)	吉田 秀得 (東京池袋)
	林 一好 (東京本郷)	
4回	諸戸 精孝 (東京)	荻原 年 (東京神田)
	大崎 味江子 (東京王子)	
3回	田島 泰 (東京江戸川中央)	
2回	小澤 徳 (東京王子)	山田 太熙 (東京江戸川中央)

米山功労者

岡部 安治 (東京新宿)	西村 美智子 (東京お茶の水)
植田 統 (東京小石川)	中村 才博 (東京後楽)

11月30日分まで 敬称略、順不同

編集者:遠山 明良 2019-20年度地区副幹事 東京ロータリークラブ所属

(訂正とお詫び2:編集者 遠山明良)

12月号で、「出典」が「出展」となっておりました。ここに訂正すると共に、お詫び申し上げます。

会員数報告

2019年7月1日クラブ数	71RC
2019年7月1日正会員数	2,990名
(内女性)	202名
2019年11月末日正会員数	3,066名
(内女性)	214名
会員増減数	76名
入会者数	111名
退会者数	35名

※詳細は地区ウェブサイト「[会員数](#)」のページをご覧ください

[哀悼] 謹んで哀悼の意を表します



東京江戸川ロータリークラブ

石上 則雄 (いしがみのりお) 会員

逝去日 2019年11月16日 享年84

入会日 1976年1月5日

石上産業(株) 取締役会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者マルチプル



東京北ロータリークラブ

五十嵐 久也 (いがらしひさや) 会員

逝去日 2019年12月10日 享年79

入会日 2014年9月9日

学校法人 芝浦工業大学 理事長